

---

# 元・不幸な少年の異世界生活

裕Pon

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

元・不幸な少年の異世界生活

### 【Nコード】

N5975P

### 【作者名】

裕Pon

### 【あらすじ】

死後、異世界にきた三上夕陽がついた早々目にしたのは、山賊に襲われる美少女！？

不幸すぎた少年が、異世界で第2の人生を生きる物語。ハーレム物です。が、主人公は鈍感です。途中からチートになります。

初めて書いてみるので、作品と呼べるようなものなのか分かりませんが、気が向いたら読んでみてください。

## 第0話 プロローグ（前書き）

はじめまして、裕Ponnといいます。

初心者なのでうまくかけませんが、気が向いたら読んでください。

## 第0話 プロローグ

「……ここはどこだ？」

起きて周りを見回すとそこは真つ白な部屋だった。

「目がさめた？」

「？誰だ？」

いきなり目の前に少女が現れた。……ちっさいな。

「くすくすくす……神って言えば分かるかな？」

「神？いやいや冗談はよs「冗談じゃないよ」……んで、神様（自称）が何のようだ？」

「自称じゃないのに……。って、ありや？覚えてないのかな？」

「何を？」

「君、死んだよ」

「は？」

「だから死んだんだって。道路に飛び出た子供助けて」

……思い出した。子供を助けて自分がトラックにぶつかったんだよな。

「死んだのか、俺……………」

「にしても不幸だね、三神<sup>みかみ</sup> 夕陽君<sup>ゆうひ</sup>。

5歳のときに飛行機事故で両親が死亡。その後親戚にたらいまわしにされ虐待を受ける。

10歳のとき虐待がばれて孤児院に入り、3年後その孤児院が閉鎖。

それから一人暮らしを始め、今に至り、最後は子供を助けて代わりに死亡。

……いまどきこんな人生している人なかなか居ないよ？」

「ほっとけ！それより本当に何のようだ？これから行く所についての説明か？」

天国と地獄、どっちなんだ？」

「まあまあ落ち着きなよ、夕陽くん。これから説明するからさ

僕達神は、君の一生を見てきてみんなが思ったことがあるんだよ」

「……………それは？」

「『この子、かわいそうだ……………』って」

「うるさい！！」

「まあまあ、落ち着いて。本来、人はみんなそれぞれ生まれ持った『幸福』の量があるんだよ。そしてそれは、死ぬときに0になるように消費されていくんだ。でも君の場合、生まれてからちつとも『幸福』の量が減っていないんだ。しかもおかしなことに逆に増えていつてるんだよ」

「？どういうことだ？『幸福』ってのは減るだけなんだろう？」

「本来はね。ところがそんな風になった。気になって調べたら、君は『幸福』が減るより速いペースで『不幸』になってたんだ」

「……………really？」

「うん」

「……………どうりでいろんな目にあうわけだよ。小さいのはチンピラとの喧嘩から大きいのは大規模マフィアとの抗争に巻き込まれることまであつたからなあ……………」

「そ、そこまでとは思ってなかったよ……………。と、ともかくそんな夕陽君を神様たちが不憫に思っ、もう一回人生をプレゼントしてあげることにしました〜イエー！」

「……………え？い、今なんていった？もう一回人生を？」

「そ！あ、でも地球に生き返るのは無理だけどね」

「……………まさかそんなサプライズがあるとは」

「よかったね〜。こんな大サービス、あんまりないんだよ？」

「でも、俺はちゃんとその世界で生きていけるのか？」

「たぶん大丈夫なんじゃないかな〜」

「たぶんかよ……………」

「さて、もう時間だから送らなきゃ。いまから眠ってもらうけど、次に目がさめたときにはもうつついてるはずだから。それじゃ、第二

の人生、楽しんできてね！」

少女　神様がしゃべり終わると同時に俺は意識を失った。

「アマテラス……彼は本当に大丈夫なのか？」

「大丈夫だよ。だって私達の子供だよ？スサノオ」

「それもそうだが……あの子は人の身に神に等しい力を秘めている。危険ではないか？」

「だから大丈夫だって。夕陽はあの力を絶対に使いこなす。そして大切な人を守るために使う。まちがいないよ。つらい目にあわせてしまったけど、あの子はまっすぐに育ってくれた」

「……そう、だな。強くなれ、夕陽。自らの力で幸せを掴めるように。僕らはいつも見守っているからな」

「……2人とも、早く仕事してくれないかな？いつもの仕事に加えて、夕陽君の転生についての調整まであるんだよ？」

「えゝめんどくs「さつさとしろ」……はい……」

## 第0話 プロローグ（後書き）

難しい…………。

もしよければアドバイスをお願いします！うまく書けるようになりたいんですよ！

できれば感想も…………。あつ、でも馬鹿にするのはやめて下さい。僕はMじゃないです！

…………かなりあほな作者ですが、もしよければこれからよろしくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5975p/>

---

元・不幸な少年の異世界生活

2010年12月30日22時34分発行